



人口 5,899人(-12)
 男 2,816人(-9)
 女 3,083人(-3)
 世帯数 1,723戸(-1)
 平成3年9月1日現在
 ()は対前月比



旅ゆく牧水

9月17日、例年どおり牧水祭が開催されました。

当日は、歌碑祭に続いて4.6メートルの牧水銅像の除幕が行われました。

平成3年

10

第485号

栗の木の こずゑに栗の なるごとき

寂しき戀を 我等とげぬる

牧水

仏野・山神・石仁田山 稜線林道起工式

九月三日、田野地区長迫の耳川林業木材加工団地において仏野山神・石仁田山稜線林道の起工式が行われました。この起工式は、東郷町から西郷村、南郷村を経て椎葉村に至る林道の早期完成と工事期間中の安全を祈願するもので、当日は、県林務部長をはじめ、多数の来賓、関係市町村長、議会議員、林業関係者の出席のもと盛大に行われました。また林道の概況は次のとおりです。

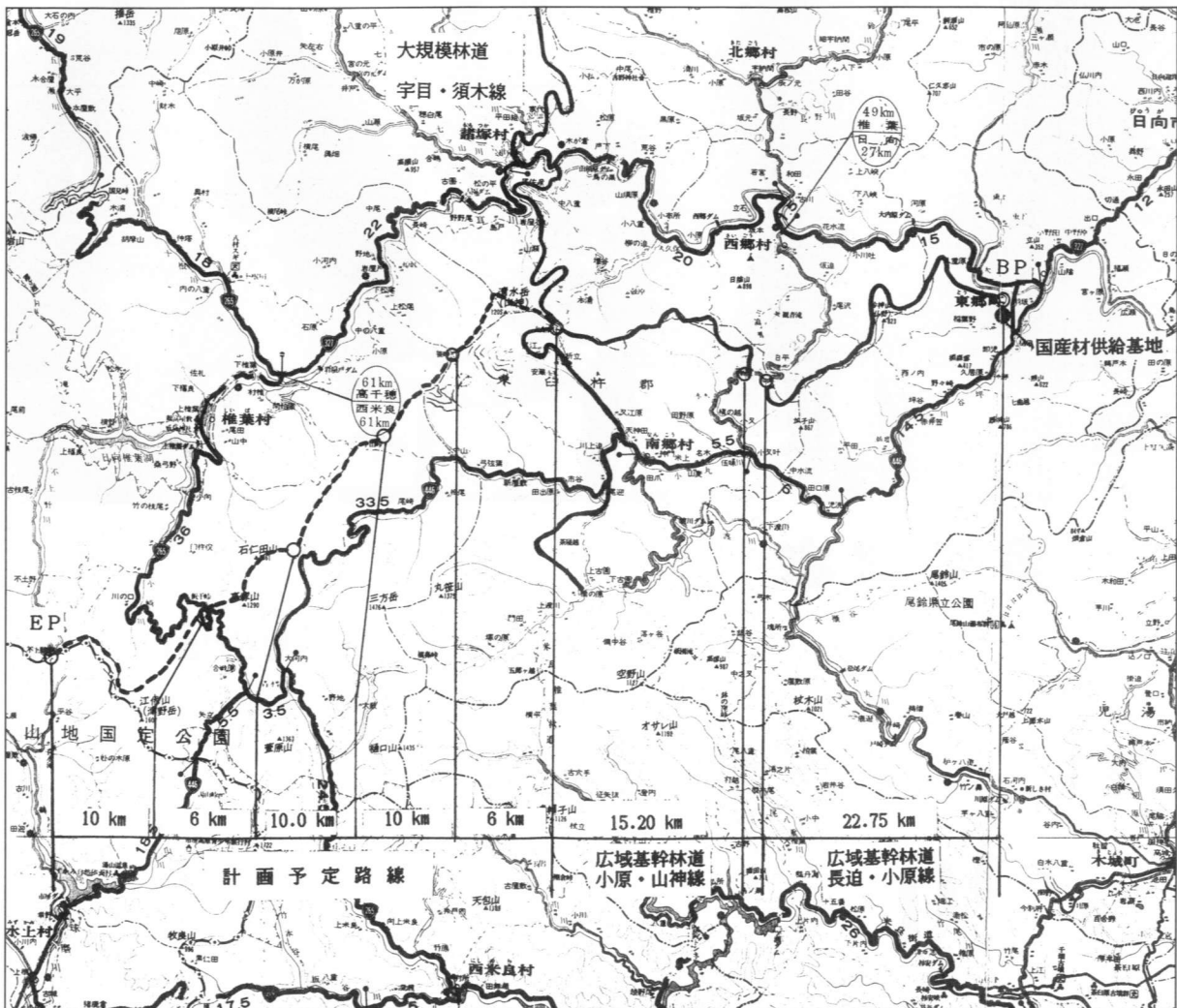
○位置等
東郷町長迫を起点に、珍神山（標高八二二メートル）、清水岳（標高一二〇五メートル）付近で大規模林道宇目・須木線に



本構想のうち、東郷町長迫から南郷村滝の内までの二二・七五キロメートルを平成二年度に広域基幹林道長迫・小原線として開設工事に着手し、さらに、南郷村小原から西郷村又江の一五・二キロメートルを平成三年度に広域基幹林道小原・山神線として整備を開始したところである。

接続し、さらに尾崎山（標高三四九メートル）、石仁田山（標高一三五九メートル）を経て国道二六五号線と交差し、馬口岳（標高一四三五メートル）に沿って椎葉村不土野峠に至る約八〇キロメートルの林道です。東郷町・西郷村・南郷村・椎葉村の耳川流域の南部に位置する、約四万三千ヘクタールの森林資源を有効に活用する目的で昭和六十一年に構想が打ち出されました。

この林道にかかる森林利用区域面積は、約八千七百ヘクタールで、重要な木材供給地として期待されています。



国保だより

交通事故にあつたら すぐ届出をしまじょひ

交通事故など第三者から傷害をうけてお医者さんにかかった場合でも国保を使って治療を受けることができます。しかし、警察に届けをせず、治療を受けた場合、事故証明書が発行されないで、自賠責に請求できません。そのようなことのないよう次のことを守りましょう。

届出をすること

交通事故にあつたらすぐに警察に届けると同時に役場の国保係にも届出（第三者行為による傷病届）をしなければなりません。届けがないまま診療をうけるとした場合「国保でかかれませんが」といわれることがありますので注意しましょう。

○届出に必要なもの
保険証
印かん
事故証明書
（そろわないときは後日でも可）

医療費は加害者が負担

交通事故など第三者から傷害をうけた場合、その医療費は被害者に過失がないかぎり加害者が全額負担するのが原則となっています。したがって、保険診療した場合においても加害者が負担すべき医療費は、国保が一時的に替えて支払うだけで、あとで国保がその医療費を被害者になりかわって加害者に請求することに なります。

示談は慎重に

加害者と被害者の話し合いがついて、示談を結んでしまうと、その示談のとりきめの内容が優先することがあり、示談の成立以後は、加害者に請求できなくなる場合があります。ですから、第三者から傷害をうけた場合は、示談を結ぶまえにかならず役場の国保係へ届け出てください。

交通事故にあつた時の心得

まずおちついてください。ついショックのあまり、冷静な判断を失いがちになります。意識のはっきりしているときは、できるだけ気持ちをおちつかせましょう。

救護を優先させましょう
負傷をしたときは、周囲の人に救急車の手配をお願いするなど、救護を最優先させましょう。

相手の確認をしましょう
▽車のナンバー、型、色、名称

▽運転者の氏名、住所、免許証、車検証

▽営業用は会社名、所在地、電話

▽自賠責、任意保険の加入の有無

目撃者へ協力をお願いします

事故現場付近に住んでいる人や、通行している人で目撃者がいたら、証言などの協力をお願いします。

役場の国保係へ届け出ましょう
保険証で治療をうける場合は至急そのことを役場の国保係へ届け出て、第三者による傷病届を提出しましょう。

軽傷であっても医師の診断をうけましょう
たいしたげがでないと思っても、万が一後遺症があつたら大変です。かならず医師の診断をうけましょう。

警察へ届けましょう
届けがして連絡できないなどの状況のときは、周囲の人をお願いして派出所や一一〇番に急報してもらいましょう。警察へ届けて事故証明書をもらつておきましょう。



10月は「高年齢者雇用 促進月間」です

高齢化社会が進む中で、高年齢者の雇用就業の場を確保することは、重要な国民的課題となっております。例年十月を「高年齢者雇用促進運動月間」と定めて、六十歳定年の完全定着、六十歳定年を基盤として六十五歳までの継続雇用の推進、再就職の促

進等総合的な雇用就業対策を推進しています。
21世紀は本格的な高齢化社会、高齢者は企業の知恵袋。
なくしてはなりません。貴重な人材、活かしてください。高年齢者

トピックス



▲キジを放鳥

8月19日、休猟区内でキジの放鳥が行われました。これは、東白杵農林振興局が毎年行っているもので今年も90羽のキジを放鳥しました。



▼一日園長

9月2日、坪谷中学校生徒会長の矢野理奈さんが鈴峰園の一日園長を務めました。

これは、老人ホームの役割りや必要性を広く知ってもらうために行われているものです。

当日は、坪谷中学校の3年生全員が職員の業務を体験しました。



◀盆前出荷

今年は8月7日から早期水稲の出荷が始まり、約5600袋の出荷実績になりました。近年、特に盆前出荷が叫ばれていますが、本町においても全体の約半分が盆前に出荷されました。

等級についても一等が若干多かったようです。



スポーツの振興

～東白杵郡民体育大会～

八月二十五日、南郷村総合運動公園において、東白杵郡民体育大会が開催され、郡内十ヶ町村から選手・役員約七百名がごいました。

この大会は、郡民の連帯とスポーツの振興を目的に毎年開催されているもので、今年で第三十回を迎えました。

本町の選手団は、二ヶ月前から練習に励み、大会で大健闘しました。

大会の結果は次のとおりです。

【三位まで】

- (一位) 若杉健司・男子A 100m・11秒7、新名博・男子三種・1308点、田辺英雄・男子F砲丸投・14m 53、寺田紋太郎・男子G砲丸投・12m 96、甲斐由美・女子A 100m・14秒2、那須則子・女子D 100m・15秒3、甲斐由美・女子走幅跳・4m 56
- (二位) 池田平美・男子E 200m・6分28秒、小林英明・男子B走幅



老人医療 について

付添看護承認 申請は事前に

付添看護承認申請は、付添をつける前に病院からの意見書を添付して申請してください。基準看護を行っていない病院で病気が特に重いなどのとき、付添看護の費用が老人保健法で定められた基準額について、あとで払い戻しが受けられることになっています。



保険内容が変わ つたら変更届出 を忘れずに

老人保健法で医療を受けることのできる七十歳(一部六十五歳)以上の人が、病院等で診療を受ける際は、保険証と老人保健法医療受給者証を提示することになっていますが、このとき使用する保険証の内容が変更になった場合は、役場への届出が必要で、例えば、加入保険及び加入保険の記号番号が変わった場合、住所が変わった場合、世帯主が変わった場合等です。保険内容に変更があった場合は、保険証、印かんを持参の上速やかに変更の届を出してください。



国民年金 基金制度 について

国民年金基金は自営業などの方々がゆとりある老後を過ごすことができるように、基礎年金の上乗せ給付を行う新しい公的な年金制度です。

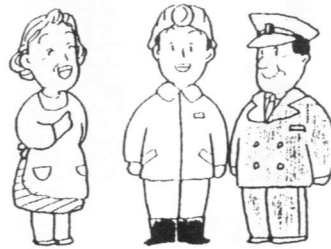
○加入資格

県内に住所があり二十歳以上十九歳までの国民年金第一号被保険者(保険料の免除を受けている人及び農業者年金に加入している人を除く)です。

○掛金

掛金月額は、選択した給付の型、加入口数、加入時の年齢によって決まります。

詳しくは、県国民年金課、役場住民課保険年金係にお問い合わせください。



炊き込みご飯は、季節感あふれる料理です。ツクシやタケノコなど、四季の彩りがご飯に入っているのは、見ていだけでも楽しいもの。特に季節の食べ物が豊富な秋は、さまざまな旬を味わうことができます。

炊き込みご飯

炊き込んだりします。これらも、いまでは健康食品として喜ばれています。また、炊き込みご飯のなかでも、いろいろな具を入れた五目飯は、栄養のバランスがよいので、家庭料理のお勧めメニューです。



秋といえばマツタケです。マツタケは炊き込みご飯の「王者」ですが、ほかにもシメジやマイタケなど、いろいろなキノコご飯が楽しめます。栗や芋、ギンナンなどを入れてもいいですね。

いまはごちそうとなった炊き込みご飯ですが、昔、米が貴重だった時代は「糍飯」といいました。糍とは「足し前の食べ物」とか「雑炊」という意味で、米に何かを混ぜてかさを増やした「苦肉の料理」だったのです。

このほか、干し芋や大根の葉の干したものを、アワやヒエ、山菜などの雑穀も、米に混ぜ

と親しんでみたいものです。

点描 (120)

昔ばなし ①

白へびと地蔵さん

寺迫の小浜と庭田と落鹿といふところに、石の地蔵さんがあります。この三体の地蔵さんは、今から二百五十年ほど昔に小浜利兵衛という人がたてたものです。村の人たちは、この地蔵さんをとても大切にしていました。ふしぎなことに、この地蔵さんには一匹の白へびがついていて、地蔵さんのお世話をしていました。ある年、村の百姓の松五郎さんが、田植のころ牛を



使って田をこしらえをしていた時、急に牛が田んぼの中でたおれて動かなくなると、とうとう死んでしまいました。松五郎さんの家では去年、おばあさんが山へたきもん取りに行っていて、急に具合が悪くなり重い病人となりました。村の人たちは二年つぎで不運にあった松五郎さんのことを心配しました。庭田の地蔵さんは白へびをよんで、小浜と落鹿の地蔵さんをおこへつれてくるように言いました。地蔵さんたちが集まると白へびは「松五郎さんは、ふだんから大変やさしい人です」と言いました。三体の地蔵さんはいろいろ相談されて、「松五郎さんは今から山へ行つた時は山の神へ、田んぼへ行つた時は田の神へ、仕事を始める前に

山の神さま、お世話になります。田の神さま、お世話になります」と言って仕事をするように」と言われました。白へびは、さっそく地蔵さんたちの言われたことを松五郎さんに親切に言いつけさせました。それから松五郎さんは、山へ行つた時は「山の神様お世話になります」、田に行つた時は「田の神さまお世話になります」と、ずっと言いつづけてきました。ふしぎなことにおばあさんの病気がすっかりよくなりました。それからというものが、三体の地蔵さんへのおれい参りをかかれました。

白へびはこのように村に不幸なことが起きたり、うれしいこと

とが起きた時には、かならず地蔵さんたちに申しあげていました。地蔵さんがある、小浜と庭田と落鹿は、約一キロメートルづつはなれていて、立派な道がおとっていました。白へびは毎日、三体の地蔵さんをたずねて「ご用はないですか」ときいてまわっていました。白へびは、とてもやさしい心をもっていて、地蔵さんにつかえ、そして村の人たちにも親切にしていました。

短歌

尾鈴短歌会

枇杷の実のたわわに実る裏庭を見つづべびぬむぎ夫のこと
井上キミエ

身罷りし娘の化身かオニヤンマお盆の夕べ部屋に入り来る
黒木 久子

首垂れて屋根に二三羽鳴く鴉不吉な声と今日落ちつかず
植田 イセ

茶工場へ越え行く朝の石峠ダムは五月の山を写せり
若藤 延世

精霊を送らむと来し耳川に愁のごとく風渡り来る

議長に

黒木九一議員

副議長に

佐藤輝夫議員

八月九日、東郷町議会臨時会が開会され、各常任委員会の構成替へと、正・副議長の選出が行われ、新しい議長に黒木九一議員、副議長には佐藤輝夫議員が選任されました。



議長 黒木九一議員



副議長 佐藤輝夫議員

町内の子どもさんたちへ今月から昔ばなしを書きます。ぜひ読んでください。
東郷町文化協会長 都甲鶴男

健康余話

64 糖尿病の治療

東郷町立病院
内科 窪田博文



今月は糖尿病の治療についてお話しします。糖尿病と診断されても最初は食事療法と運動療法で治療しますが、多くの人はその怖さが分からず、数年経ちます。そして空腹時でも血糖値が二百を超すようになると経口血糖降下剤を使います。

この薬は糖尿病を治すのではなく、単に血糖を下げてその合併症（失明したり、透析したり、手足が腐って切断したり）を予防しているのです。糖尿病は早いうちに食事・運動療法をはじめたり、肥満を標準体重にまで戻したりすれば、ほとんど健康な人と同じ人生を歩むことが

できますが、意志の弱い人は経口血糖降下剤を使いはじめるとつい食べてしまうのです。そうするとはじめは一錠であったものが、二錠、三錠となり、四錠となります。この薬は二・五ミリです。四錠が限度といわれています。これ以上使っても下がりませんから、それでも血糖の高い人はインスリンを注射することになります。よく「注射を始める」と死ぬまでせにやならんじやろう」という患者さんがいますが、注射を始めるから死ぬまでではなく、医師から言われた点でもう体がインスリンを分泌しなくなっているのですから、合併症の進行を防ぐためには注射をしなければならぬのです。もしその時にインスリン注射を嫌がれば、合併症は非常にややく進行しますし、血糖値も二百とか三百と高くなります。三百を超すようであれば、いつ意識がなくなったりするかわかりませんし、放置すれば死亡したりします。多くの患者さんはこの時点で病院に担ぎ込まれますが、治療はインスリンの点滴をするしかありませんので、結局はインスリン注射をすることになるのです。こうなってしまうのは多量のインスリンを必要とします

から、——早期に始めていけば一日二回の注射で済んだのに——一日に二回か三回の注射をしなくてはなりませんし、食事にも非常に注意しなければなりません。

結局、糖尿病の治療はなるべ

AT車の運転ミス 防止と交通事故の現況

オートマチック車はアクセルを踏まなくてもゆっくり動き出します。その操作は必ずブレーキを踏んで行いましょう。一時停止はドライブのままでもフットブレーキでOKですが渋滞で停止時間が長い時はエンジンに負担をかけないためにもニュートラルに切替えます。長い坂道では「2」「1」を

くはやく始めた方が楽な治療で済むのです。自分は肥満であると分かっていて、糖尿病を指摘された方は、早いうちに糖尿病の怖さを認識してセルフコントロールしてください。

交通事故の現況 (六月末統計)

高齢化が進む中で全国また県内でも高齢者の運転による事故が増加しています。県警本部の事故調査によると別表のとおり東郷町も高齢者事故が多いようです。運転や歩行に十分注意してください。

また、交通違反の検挙者も東郷町は六カ月間で合計一八八件

特に多い人身事故

(6月末現在) <県警本部調>

市町村	特 徴
東郷町	歩行者の事故 高齢者の事故
西郷村	人身事故 4件 負傷 7人
南郷村	1件 1人
北郷村	なし
諸塚村	なし
椎葉村	人身事故 1件 負傷 2人

東郷町は県下で3位(人口比)

居住地区別交通違反者数 (6月末)

	無免許	飲酒	速度違反	信号無視	駐停車	一時停止	通行禁止	追越し	乗車不適	シートベルト	その他違反
日向	50	113	479	138	213	342	171	142	46	351	245
門川	14	39	228	57	54	76	17	28	8	103	57
東郷	2	12	63	11	5	34	5	14	3	25	14
西郷	—	10	32	2	2	11	9	13	2	17	1
南郷	—	13	22	3	2	18	3	16	1	8	3
北郷	—	10	8	4	5	9	1	4	1	8	7
諸塚	—	11	18	3	4	21	0	9	1	6	2
椎葉	—	6	29	1	4	16	4	8	0	4	3

と入郷でトップです。違反は事故を引き起こす原因になりますので、事故も違反も出さないよう努力しましょう。

交通事故の発生状況 (八月累計)

	計	椎葉村	諸塚村	北郷村	西郷村	南郷村	東郷町	門川町	日向市	件数	人身事故	死者	傷者	物損事故
全国	155	1	0	1	5	1	8	20	115	115	8	20	1047	
県内	3	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	2	1047	
東郷町	194	2	1	10	1	8	31	141	141	141	8	31	1047	
合計	1485	33	28	21	26	30	75	225	1047	1047	75	225	1047	

死者 全国 八、九四三人 県内 五〇人



住民健診

十月の住民健診の日程は次のとおりです。

- 児洗公民館
10月3日 (児洗・一松露)
受付時間9時30分～11時30分
- 大工野集落センター
10月8日 (下村・山内・オモタカ)
受付時間9時30分～10時30分
(前田・中水流・中山)
- 受付時間13時30分～14時30分
10月22日 (大工野)
- 受付時間9時30分～10時30分
10月17日 (中水流)
- 10月24日 (田口ハッ山)
受付時間 9時30分～11時
- 田野集落センター
10月22日 (田野全域)
受付時間13時30分～14時30分

- 羽坂生活改善センター
10月23日 (硯野・羽坂・沖之水流)
受付時間9時30分～10時30分
(井尻・小長野・深瀬・樋田・日下道)

- 受付時間 13時～14時
- 老谷地区営農研修センター
10月25日 (大谷・小野田第一、第二)

- 受付時間9時30分～10時30分
- 小野田公民館
10月25日 (又下一、二・又中、上・住宅)

- 受付時間13時30分～14時30分
- 下渡川公民館
10月31日 (下渡川)
受付時間 9時30分～11時



そば

ありませんか?

町観光協会では、「牧水庵」のそばを町内で確保するため生産者に呼びかけていますが、今年量は問いませんので、販売できる方がありましたら町観光協

会事務局(牧水公園ふるさとの家69-7720)へお申し込みください。
なお、買い取り価格は穀つきのままで、一キログラム当たり四百円です。



行政相談所開設のお知らせ

役所や公社・公団などの仕事に対する国民の方々の苦情や意見・要望を解決していくのが「行政相談委員」と「総務庁(行政監察事務所)」の役目です。
総務庁では、国民の皆様に行政相談制度を広く知っていただき、利用してもらうために、「行政相談週間」(10月13日～19日)を設け、全国一斉に各種の行事を行います。
東郷町では、次のとおり行政相談所を開設し、みなさんからのご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。
相談は無料で、秘密は守られます。

- ▽日時 10月15日 9時～15時
- ▽場所 東郷町役場
- ▽日時 10月16日 10時～14時
- ▽場所 越表地区生活改善センター

相談の内容は、年金・保険・道路・交通安全・登記・農地・消費者保護・郵便・労働基準などの国の仕事や国から委任、補助を受けている県・市町村の仕事、JR・NTT・公社・公団・公庫などの仕事について、「納得できない」、「このようにしてほしい」、「処理が間違っている」、「どうすればよいか」、「処理が遅い」、「不親切な扱いを受けた」などの苦情、意見・要望について受け付けます。
※なお、宮崎行政監察事務所においても行政相談専用電話(0985-24-1110)で、いつでもみなさんにご相談に応じますのでご利用ください。



山口俊一相談員

平成三年度 産業文化祭

今年の産業文化祭は例年より一週間はやくなり十一月二日・三日となります。



忌明けとして、つぎの方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎八重原の寺原千代栄さんから(昇さん・67才ご逝去)

今月の納税等
町県民税 三期
国民健康保険税 六期

戸籍だより

(八月届出分)

出生 おめでとー

赤ちゃんの名	父の名	住所
山口頌太	智	小野田

結婚 お幸せに

氏名	住所
溝口良市	寺迫
黒木由美子	西都市

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
稲田ケサノ	75歳	羽坂
直野光吉	54歳	福瀬
稲田岩夫	79歳	八重原
寺原昇	67歳	八重原